

# ONE23

東京23区が見える。わかる。季刊誌「ワンツースリー」

2012  
SUMMER  
Vol.9



## 東京23区で 活躍する乗り物をご紹介します!

- 「歩く」杉並区 水と緑に癒される散策コース
- 「知る」『所蔵資料』蔵出し
- 「学ぶ」OU講座紹介、特別区競馬組合展
- 「食べる」スイカ(水菓子!?)で爽やかに夏を乗り切る!
- 「触れる」荒川区、新宿区、世田谷区の見学・体験施設紹介

東京23区で

活躍する

乗り物を  
ご紹介!



**足立区：日暮里・舎人ライナー**  
高架のため車窓から足立区の町並みを眺望できます。特に荒川を渡る景色は絶景です。(写真提供「ときめき」)



**荒川区：都電荒川線**  
三ノ輪橋から早稲田までを結ぶ都電荒川線。春と秋には沿線をバラの花が彩ります。



**板橋区：コミュニティバス『りんりんGO』**  
都営三田線新高島平駅と東武東上線下赤塚駅を循環。緑あふれる“赤塚”を巡ってはいかがですか。



**江戸川区：環七シャトルバス**  
小岩駅(亀有駅)と葛西臨海公園駅・東京ディズニーリゾート®を結び、通勤・レジャーにも便利です。



**大田区：たまちゃんバス**  
大田区初のコミュニティバス「たまちゃんバス」。下丸子・矢口・多摩川地区を走行中です。



**葛飾区：矢切の渡し**  
柴又帝釈天に近く、江戸時代に設けられた都内に唯一残る渡し場。小説や歌謡曲で有名。



**北区：あすかパークレールの『アスカルゴ』**  
飛鳥山公園入り口と山頂を結ぶモノレールです。かたつむり似の車両に乗ればらくらく登頂です。



**江東区：DE10形ディーゼル機関車**  
越中島支線の旧小名木川駅近くの南砂線路公園からは、間近に迫り姿が見られます。



**品川区：しながわ水族館 無料送迎バス**  
大井町駅と楽しいイベント盛りだくさんのしながわ水族館を往復する無料送迎バスです。



**渋谷区：ハチ公バス**  
区内に4ルートあります。代官山や表参道など、見どころを回るときにも、100円均一で気軽に利用できます。



**新宿区：新宿WE(ウィー)バス**  
新宿駅の東西を循環し、開放感ある天窓からは新宿のまちの風景を楽しめます。



**杉並区：七色の車両を持つ『京王電鉄井の頭線』**  
永福町駅の屋上庭園「ふくにわ」からの七色の電車と都心のビル、遠くの山々が絶景です。



**墨田区：墨田区内循環バス『すみだ百景 すみまるくん・すみりんちゃん』**  
「国際観光都市すみだ」の案内役として、東京スカイツリー®等魅力ある観光資源を紹介。



**世田谷区：世田谷区・IHIコミュニティサイクル**  
4か所あるポートのどこでも貸出・返却ができ、サイクルマップを使い観光ができます。



**台東区：循環バス『めぐりん』**  
区民の足としてだけでなく、観光にも便利な台東区内を3路線で走るレトロ調のバスです。



**中央区：江戸バス**  
赤い小さなバスが目印です。運賃は100円で、北循環と南循環の2系統で運行しています。



**千代田区：地域福祉タクシー『風ぐるま』**  
区内3つのルートを巡回する、高齢者や障がい者をはじめ、誰でも利用できる福祉タクシーです。



**豊島区：としまななまるバス**  
広報キャラ「としまななまる」が描かれたバスが東池袋と練馬区江古田を結んでいます。



**中野区：コミュニティバス『なかのん』**  
開園したばかりの中野四季の森公園を通ります。中野駅と鷺宮方面とを結びます。



**練馬区：みどりバス**  
緑色の車体が目印。大泉学園通りでは、春先に桜のトンネルが楽しめます。



**文京区：コミュニティバス『B-ぐる』**  
区内の移動はB-ぐるにおまかせ。シビックセンターを中心に2路線が運行中です。



**港区：ちいばす**  
六本木ヒルズ、麻布十番商店街、東京ミッドタウンなど、港区の観光スポットを結びます。



**目黒区：サンクスネイチャーバス**  
廃食用油を燃料として自由が丘の街を巡回するコミュニティバス。無料で乗れます。

※掲載はあいうえお順です。

# 歩く

夏だからうれしい水と緑に触れあえる散歩道  
水辺や木陰で涼みながら、心身ともにリフレッシュ!  
そんなお散歩コースをご紹介します。

## 杉並区 井荻駅周辺



### ① ビオトープ

### ② 花壇

散歩みちには地域の方々で管理するビオトープ（生物の暮らせる場所）や花壇があり、自然観察などを楽しむことができます。



科学と自然の散歩みちルート（詳細は杉並区ホームページで!）



### ③ 井草川遊歩道

旧井草川を整備した遊歩道です。緩やかに蛇行したみどり豊かな遊歩道で、木陰も多く近くには小さな公園が点在しています。



### ④ 妙正寺公園

妙正寺川の水源になる妙正寺池を中心にした公園で、池の周辺で休憩したり、子供たちに人気のある遊具コーナーもあります。



### ⑤ 井草森公園

旧機械技術研究所の跡地に造られ、「防災機能とスポーツ機能を備えた花の豊かな公園」をテーマにしています。

## ちょっと寄り道しませんか

### 科学館 （休館日 日曜・祝日・年末年始）

名誉館長でもある小柴博士の生いたちやニュートリノ天文学を紹介する展示コーナーが開設されています。



## 正しい姿勢で、健康散歩!!



正しい姿勢で歩くと、筋肉や関節のバランスが整って疲れにくくなるそうです。では、具体的に正しい姿勢というと、まっすぐ「気をつけ」の体勢ではなくて、天井から1本の糸で吊るされたイメージで肩の力が抜けた状態です。

歩き方は、かかとから地面につけて、重心をつま先に移していき、体重も前に移動させます。後方の足のかかかとが上がり、前進してかかとから着地します。少しずつ意識して健康的な歩き方をマスターしましょう。

# 知る

23区をもっと知ってもらいたい。

特別区自治情報・交流センターでは、統計データ、書籍をそろえて、皆さんのお越しをお待ちしています。

## 『所蔵資料』 蔵出し —「地方制度調査会」にかかわる資料—

大阪都構想が注目され、新聞・雑誌やインターネット上でよく見かけます。それに並行して地方制度調査会という文言も見かけるようになりました。

地方自治に関係する方々以外、関心を持たれることが少なかった地方制度調査会が、大阪都構想に関連

する大都市制度等について調査審議することから注目されています。

そこで、今回のお題は「地方制度調査会」。都区制度に関する地方制度調査会の資料を探してみます。



『地方制度調査会審議経過概要(第1次～第12次)』  
(昭和43年11月東京都企画調整局)

### 「地方制度調査会」とは

『地方制度調査会答申集(自治大臣官房企画室編)』によれば、「日本国憲法の基本理念を十分に具現するように現行地方制度に全般的な検討を加えることを目的として、昭和27年8月18日、地方制度調査会設置法が公布され、同日施行された。(中略)内閣総理大臣の諮問に応じ(中略)地方制度に関する重要事項を調査審議するため、総理府の附属機関として設置された」とあります。

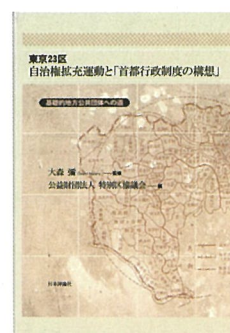
今まで29次にわたって設置され、地方税財政や行政事務再配分などについて調査審議されました。現在、第30次が発足し、住民自治のあり方、大都市や基礎的自治体のあり方などについて、調査審議中です。

### 『首都制度当面の改革に関する答申』(第8次答申)

都区制度について、地方制度調査会が初めて答申したのは、昭和37年10月1日の『首都制度当面の改革に関する答申』(第8次答申)でした。

『地方制度調査会審議経過概要(第1次～第12次)(昭和43年11月発行)』(左上写真)の経過概要には、「特に事務配分を中心として都と特別区の問題に焦点を絞り」とあり、「この答申は、首都の公共施設の整備その他と都行政の行きづまり打開のため」とあります。答申では、「新たに特別区の事務とすべきものうち主なものを例示すると、社会福祉、環境衛生(し尿の終末処理を除く)、幹線街路以外の道路建設及び管理、公営住宅の管理等であり、福祉事務所、保健所、清掃事務所(中略)は、特別区へ移管するものとする。」とあります。

実際、福祉事務所、保健所、清掃事務所の所管事務が区に移管されたのは、それぞれ昭和40年、昭和50年、平成12年です。



『東京23区自治権拡充運動と「首都行政制度の構想」』(平成22年7月大森彌監修公益財団法人特別区協議会編)

### 『東京23区自治権拡充運動と「首都行政制度の構想」』と『區政春秋(第19号)』

第8次答申後の昭和37年10月8日、自治省の行政課長・課長補佐が特別区協議会を来訪しています。『東京23区自治権拡充運動と「首都行政制度の構想」』(平成22年7月発行)』(右写真)には、「答申が出されてただちに、自治省の岸昌行政課長・乗富光義課長補佐の両氏が特別区協議会事務局を来訪し、「答申の趣旨と精神」について説明、(中略)行政課長は10月22日の区長会に、(中略)課長補佐は11月7日議長会・区政調査特別委員長会合同会に、それぞれ出席して同様の説明を行っている。」とあります。

また、乗富光義課長補佐は、昭和37年12月、特別区協議会が発行する冊子『區政春秋』(左下写真)に、『首都制度当面の改革について』という題名で、地方制度調査会の審議経過及び答申、都制調査会の答申、特別区協議会の意見等について、解説しています。



『區政春秋第19号(昭和37年12月財団法人特別区協議会)』

本文中で紹介した資料は、特別区自治情報・交流センターで閲覧できます。また『東京23区自治権拡充運動と「首都行政制度の構想」』は同センターで販売、『區政春秋第19号』は同センターホームページで公開しています。【アドレス】<http://www.research.tokyo-23city.or.jp/>

# 学ぶ

あなたの「学びたい」気持ちにお応えする  
東京区政会館の学べるスポットをご紹介します。

## 首都大学東京講座

東京区政会館3階では、どなたでも学べる「首都大学東京オープンユニバーシティ（OU）」を開講しています。様々な講座から、特別区協議会との共同講座を紹介します。

**特別区協議会との共同講座** 申込み方法をご覧ください。

品川に200回御成した将軍 ～三代将軍徳川家光と品川御殿山をめぐる～

日時	7月6日(金)14:00～15:30 7月13日(金)10:00～14:00
講師	品川区立品川歴史館学芸員 富川 武史
受講料	7,300円(全2回)

御殿山という名称は、三代将軍徳川家光が鷹狩や茶会などに使用する別邸「品川御殿」を設けたことに由来します。家光は、品川の風景を好み、禅僧沢庵を招いて東海寺を開きました。第2回は、御殿山と東海寺周辺を歩きます。 ※7月13日の集合は、京浜急行線北品川駅改札。

### ●申込み方法

原則、各講座開講の2週間前までにお申し込みください。定員に達し次第、締め切ります。オープンユニバーシティは会員制です。入会金3千円を最初の受講料と一緒に支払ってください。申し込み後、銀行振込・払込票・クレジット（WEB申し込みの場合のみ）のいずれかで受講料をお支払いいただいた後、「受講のご案内」をお送りします。

**特別区協議会との共同講座** 申込み方法をご覧ください。

幕末明治の築地と明石町を探る

日時	8月2日(木)14:00～15:30 8月9日(木)10:00～12:00 9月6日(木)14:00～15:30 9月13日(木)10:00～12:00
講師	中央区教育委員会総括文化財調査指導員 野口 孝一 中央区立京橋図書館地域資料室(司書) 菅原 健二
受講料	9,700円(全4回)

築地・明石町あたりは、明暦3年の大火後、埋め立てられて生まれた地域です。日本の夜明けという視点から考え、講義と街歩きで探ります。

※8月9日の集合は、中央区立京橋図書館。9月13日の集合は、中央区立郷土天文館。

申込み先

首都大学東京オープンユニバーシティ窓口  
TEL: 042-677-2362 (平日9時～19時)  
WEB: <http://www.ou.tmu.ac.jp/>

## 特別区競馬組合展

～TCKの歴史と現在～

今年は、日本の近代競馬150周年。

そして、開場60余年を数える「大井競馬場」は、ハイセイコーなど伝説の名馬を生み出してきた熱き勝負の地です。

展示では、特別区競馬組合や競馬事業、大井競馬(TCK)の歴史と今現在をご紹介します。また、実際に使われた馬具や勝負服などの貴重な資料もご覧いただけます。

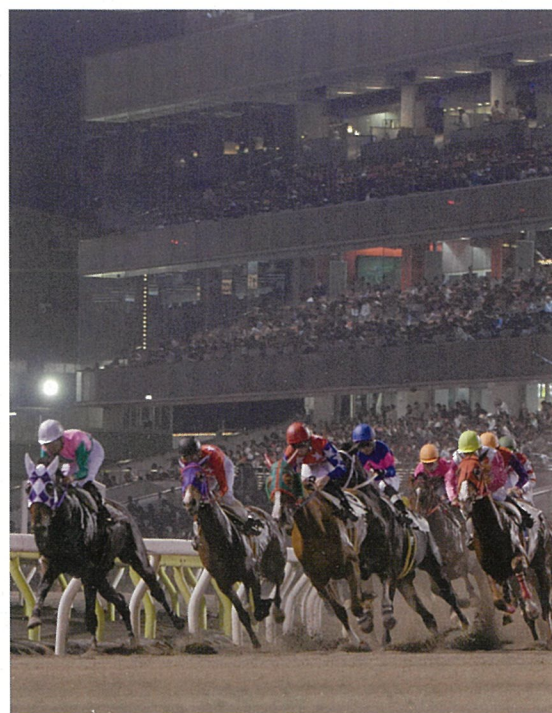
### 展示スケジュール

《開催日》 7月10日(火)～8月2日(木) (日・祝を除く)

《展示時間》 平日 9:00～20:30

土曜日 9:00～17:00

《会場》 東京区政会館 1階エントランスホール



トゥインクルレース

(写真提供・特別区競馬組合)

次回の展示は、足立区の文化施設「足立生物園」の魅力紹介展示。8月上旬の開催を予定しています。

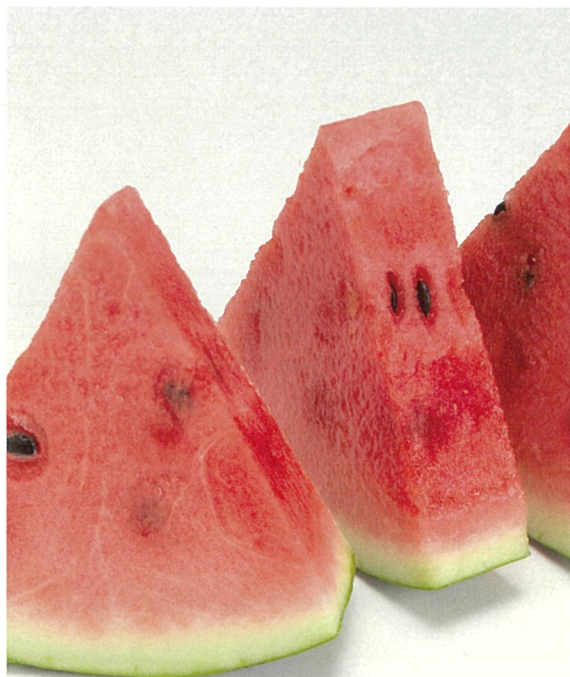
# 食べる

キーンと冷えたスイカ…

暑い夏の日にはたまらないですよ！

そんなスイカの美味しくて為になるお話をご紹介します。

## スイカのアレコレ



### スイカが水菓子？

私が水菓子と聞いて思い浮かべるのは、「水ようかん・かんてん・ところてん・ゼリー」など涼しげなお菓子です。

現代、水菓子というと私がイメージしたような菓子を指しますが、昔は中国から伝わった小麦粉を使って作る菓子を「唐菓子」、果物のことを「水菓子」、木の果類などを「木菓子」と読んで区別したようです。

江戸時代、夏の水菓子といえばウリ類が人気で特に「スイカ」と「マクワウリ」が好んで食べられました。

街には、スイカをすぐに食べられるように切り売りする屋台がでて「すいかん、すいかん」や「すいかんやー、すいかん」などと言って売っていたそうです。

夏の暑い日にスイカを頬張り、のどの渴きをうるおしていた様子が目に浮かびます。なるほど、まさに「水」菓子ですよ。

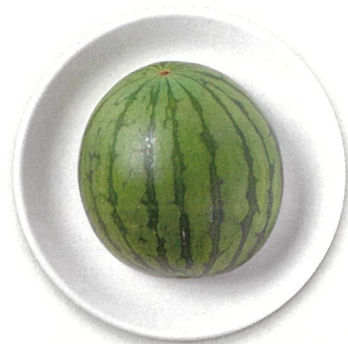
## 美味しく食べて健康に

### 水分、糖分だけじゃない！！

スイカは、ビタミンやミネラルも豊富で、しかも抗酸化物質も含む夏の体に優しい食物です。

特に注目される成分は、「リコピン」「カリウム」「シトルリン」です。

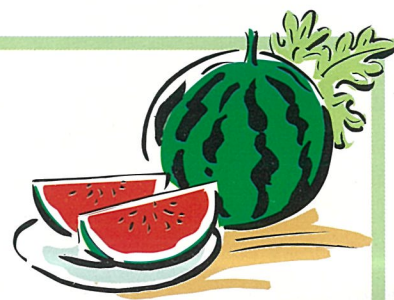
「リコピン」はスイカに含まれる、赤い色素です。リコピンは紫外線による肌の酸化を防いだり、動脈硬化やガンなどの予防効果も期待できます。「カリウム」は体内の必要以上の塩分を体外に排出する効果があり、「シトルリン」は老廃物や有害物質を体外に排出する効果があるといわれています。



### スイカは捨てる所がない？

赤い果肉を食べ終わったあとのスイカの皮は、一番外の固い部分をとって塩揉みして少し置けば、歯ごたえシャキシャキの漬物になったり、種は煎って食べると香ばしくて美味しいんです。また種は古くから漢方薬としても使われています。

スイカで夏の食卓は、健康的でバリエーション豊かになりそうです。



2012 SUMMER Vol.9

# 触れる

東京 23 区には様々な、見学・体験ができる施設やお店が沢山あります。

技法、技術など興味深い体験講習をご紹介します。

## 都行燈 (みやこあんどん)

荒川区 / 見学・体験



明治初期創業の都行燈(株)は、<sup>あんどん</sup>行燈のほか到店舗や住宅用等の和風照明器具を製造販売しています。現在は、新しいオリジナルデザインの照明器具の発表や照明コンサルタントとしても活動しています。

住 所：荒川区東日暮里 4-26-10  
営業時間：9:00～18:00 定休日：日曜日・祝日  
T E L：03-3803-1755 F A X：03-3803-1756  
H P：http://www.miyako-andon.com/  
見学・体験：事前予約必要

**見学** 木製照明器具の製造工程等の見学 — 工房内において、行燈のほか、木製照明器具の製造工程等を見学することができます。ただし、見学者の安全面を考慮し、一部の作業工程については離れた場所からの見学になります。

**体験** 照明器具の手作り体験 — (体験時間 2 時間 / 体験費用 5,000 円～) 工房の横に設置されている体験スペースにおいて、行燈のほか、自分だけの「オリジナル照明器具」を手作り体験し、持ち帰ることができます。

## 見学・体験をするにあたってのお願い

- 事前予約が必要な場合は、必ず予約をお願いします。
- 無断や直前のキャンセルは、ご遠慮ください。
- 安全に留意し、マナーを守ってご利用ください。
- 衣服が汚れることがありますので、作業しやすく汚れてもいい格好かエプロンなど持参してご参加ください。
- 掲載内容に変更がある場合がございます。詳しくは各店舗へお問い合わせください。

## 染の里 二葉苑

新宿区 / 見学・体験



駅から続く妙正寺川沿いの住宅街に佇む大正 9 年創業の型染め工房です。ギャラリーとカフェを併設する新宿ミニ博物館のひとつで、伝統の技を守りながら、斬新なアイデアで魅力的な作品を生み出しています。

住 所：新宿区上落合 2-3-6  
T E L：03-3368-8133 F A X：03-3362-3287  
メール：gallery@futaba-en.jp H P：http://www.futaba-en.jp/  
見学・体験可能日：火～土曜日(年末年始を除く)

**見学** 江戸更紗と小紋の工房をガラス越しに見学 — 図柄に色をつける工程や生地を蒸す作業をのぞいてみましょう。

料金：無料 所要時間：30～60 分  
時間：11:00～17:00(12:00～13:00 は職人不在)

**体験** テーブルセンターを型染めで製作 — 花鳥がモチーフの型紙を使い、顔料で濃淡をつけながら、約 1 時間で摺り上げます。

料金：2,500 円 定員：5 名 対象：小学 4 年生以上 所要時間：1 時間 時間：14:00～(予約・キャンセルは 2 営業日前の 15:00 まで)

## I I D 世田谷ものづくり学校

世田谷区 / 体験・講座・その他



学校校舎の雰囲気大切にしながら、「学び・雇用・産業」の再生といった視点から、民間の活力を生かした新しい手法により、新しい産業の育成や創業の支援などを行っています。また様々なイベントやワークショップも実施し、新たなコミュニティづくりや地域の活性化をめざしています。施設内にはギャラリーやカフェが併設し、一般開放しており、誰でもみることができます。

T E L：03-5481-9011 F A X：03-5481-9012  
H P：http://setagaya-school.net/

住 所：世田谷区池尻 2-4-5  
開館時間：11:00～19:00 ※月曜休館(月曜日が祝日の場合は翌火曜日)

### イベントの実施

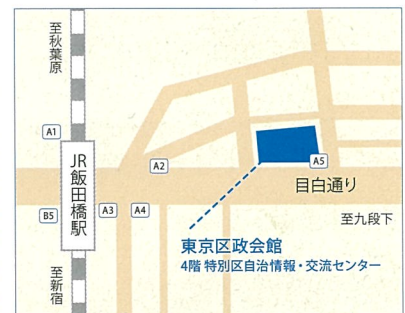
世田谷ものづくり学校の入居者をはじめとしたプロのクリエイターを講師に迎え、土日祝日を中心に夏休みやクリスマスシーズンなど年間を

通じて、子どもから高齢者まで様々な世代を対象に、「ものづくり」をテーマにしたイベント・教室・セミナーなどの催しを行っています。



http://www.research.tokyo-23city.or.jp

〒102-0072  
千代田区飯田橋 3-5-1 東京区政会館  
電話 / 03-5210-9051  
交通 / 東京メトロ東西線 飯田橋駅 A5 出口すぐ  
JR 中央・総武線 飯田橋駅 東口徒歩 5 分



「ONE23(ワン・ツー・スリー)」(夏 vol.9)  
2012 年 7 月 1 日発行  
発行 / (公財) 特別区協議会 事業部  
企画編集・デザイン / 株式会社アートプレスト・株式会社 YDS  
印刷 / 株式会社キタジマ